



東京2020オリンピック 自転車競技ロードレース 男子は7月25日、女子は26日に開催！

自転車競技ロードレースコース
道志村と山中湖村を通過

東京2020オリンピックの自転車競技ロードレースのコースは、東京都の武蔵野の森公園をスタートし、神奈川県から山梨県の道志村、山中湖村を經由し、静岡県の富士スピードウェイでゴールします。日本を象徴する富士山を間近に望む、起伏の激しい難易度の高いコースでは、迫力あるレース展開が期待されます。



自転車競技ロードレースコース 道志みち (国道413号線)

東京2020オリンピック聖火リレー
6月27・28日に山梨県で実施

1日目 6/27(土)	2日目 6/28(日)
① 南部町	① 笛吹市・山梨市
② 身延町	② 甲州市
③ 早川町	③ 富士山
④ 富士川町	④ 上野原市
⑤ 市川三郷町	⑤ 大月市
⑥ 中央市・昭和町	⑥ 都留市
⑦ 甲斐市・南アルプス市	⑦ 西桂町
⑧ 北杜市	⑧ 忍野村
⑨ 韮崎市	⑨ 富士河口湖町
⑩ 甲府市	⑩ 鳴沢村
	⑪ 富士吉田市
セレブレーション会場 山梨県庁噴水広場	セレブレーション会場 富士山パーキング



画像提供：Tokyo 2020



令和元年7月21日に開催された自転車競技ロードレースのテストイベントの様子



発刊のことば

山梨県は、東京圏に隣接しながら、世界文化遺産富士山や南アルプスをはじめ日本を代表する山々に囲まれ、豊かな自然や清らかな水、高品質な農産物、高い技術と伝統を持つ地場産業など、多くの地域資源にあふれています。多くの特産物の中でもワインは有名で、本県は日本ワインの発祥地であり、その生産量やワイナリー数は日本一を誇ります。昨年「ワイン県」宣言を行い、これをきっかけに山梨のワイン文化だけでなく、本県の魅力を強くアピールしていきます。

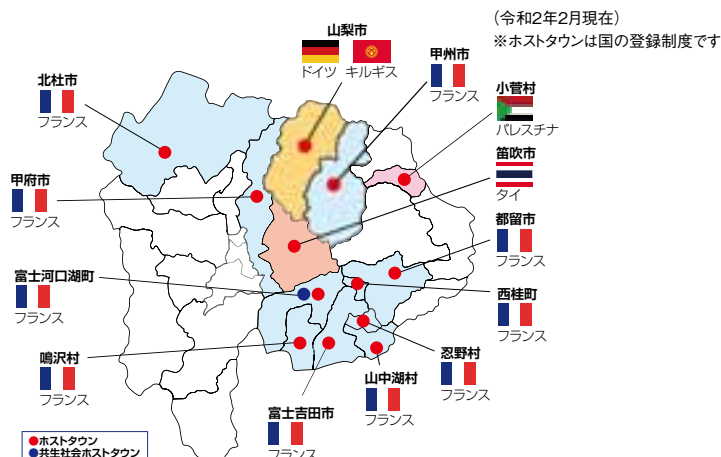
昨年12月には、県政運営の新たな指針となる「山梨県総合計画」を策定しました。この計画に基づき、2040年までに本県が目指すべき姿『県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし』を実現するため、施策や事業を推進して参ります。

また本年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックの年であり、本県ではオリンピックの自転車競技ロードレースが開催されます。この好機を生かし、国内外に山梨の魅力を発信していきます。

この冊子は、本県の今の姿を、データを中心に分かりやすく紹介しています。山梨県の資料集としてお役に立てていただくとともに、本県の持つ魅力やポテンシャルを十分に実感していただければ幸いです。

山梨県知事 長崎 幸太郎

東京2020オリンピック・パラリンピック ホストタウン・共生社会ホストタウン



Contents

■ 県政トピック	3	■ 県の組織	25
■ 山梨県総合計画	5	■ 県の予算	26
■ 山梨の姿		■ 施設ガイド	27
地 勢	7	■ 山梨の魅力	
面積・人口	9	郷土に伝わる四季の祭り	29
歴 史	11	国 宝	30
先 人	13	世界遺産	31
産 業	15	日本遺産	32
国際交流・国際理解、		山梨の逸品	33
多文化共生	19	山梨の郷土食	35
データファイル	21	山梨散策	37

県政トピック *Topics*

■山梨「ワイン県」宣言！

国産ブドウだけで造られる日本ワインの生産量、ワイナリー数が日本一を誇る山梨県には、明治時代から約150年続くワイン造りの歴史と伝統があります。

平成22年には、本県特産のブドウ品種「甲州」が、OIV（国際ブドウ・ワイン機構）に日本固有の品種として初めて登録され、EUへ輸出するワインラベルに「Koshu」と表示できるようになりました。また、平成25年には日本のワイン産地として初めて、国税庁長官から地理的表示「山梨」の指定を受け、これにより「GI Yamanashi」と表示された山梨ワインは、原産地と品質を保証された付加価値の高いものとなっています。



このように山梨のワインに注目が集まる中、改めて山梨こそが名実ともに日本一のワイン産地であることを広くアピールし、山梨ワインのさらなる発展を図るため、昨年8月7日に「山梨『ワイン県』宣言」を行いました。この宣言を契機として、観光客の皆さんに山梨という地を選んで、足を運んでいただき、ワインや日本酒などの県産酒と一緒に、本県ならではの食とのマリアージュを楽しんだり、伝統工芸品などを手に取ったりしていただく機会が増えるよう、積極的に「ワイン県」山梨を発信していきます。

■山梨の新たなブランド魚「富士の介」出荷スタート

清らかな名水に恵まれた山梨県は、全国有数の淡水魚の生産地でもあります。令和元年10月、日本で初めてキングサーモンとニジマスを交配させて誕生した「富士の介」の出荷が始まりました。

味に定評のある希少なキングサーモンと、有数の生産地である山梨県で育てやすいニジマスを両親に持ち、それぞれの良さを併せ持つ富士の介は、きめ細かな身質、ほどよく乗った上品な脂、豊かなうま味の特徴です。

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を前に出荷が始まったことからこの好機を生かし、山梨県の新たなブランド魚として県内外の多くの皆さんに、富士の介を口にしていだけるよう、ブランド化に取り組んでいきます。



■中部横断自動車道 静岡ー山梨間全線開通へ

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点に、山梨県甲斐市を經由して、長野県小諸市に至る延長約132kmの高速道路です。

静岡県と山梨県をつなぐ新清水JCTから双葉JCTの全線が、いよいよ本年開通の予定です。開通により、山梨県へのアクセスが一層向上し、物流の効率化やインバウンド観光の促進など、沿線地域をはじめとして、山梨県全体の発展につながると期待が寄せられています。

また、大規模災害が発生した際には、通行止めとなった道路の代替路として活用されたり、医療施設までの所要時間が短縮され、救命率の向上が見込まれたりするなど、命の道として地域住民の安全・安心の面で重要な役割を担います。

さらに山梨県と長野県をつなぐ区間では、環境影響評価や都市計画の手続きを進めるなど、早期の全線開通を目指していきます。



令和元年11月17日に開通した富沢IC～南部IC

(提供：国土交通省)



■リニアやまなしビジョンを推進！

2027年に予定されているリニア中央新幹線の開業は、中間駅が設置される山梨県にとって、中央本線や中央自動車道の開通以来の歴史的な出来事であるとともに、県内経済にとって、今後またとない好機となります。

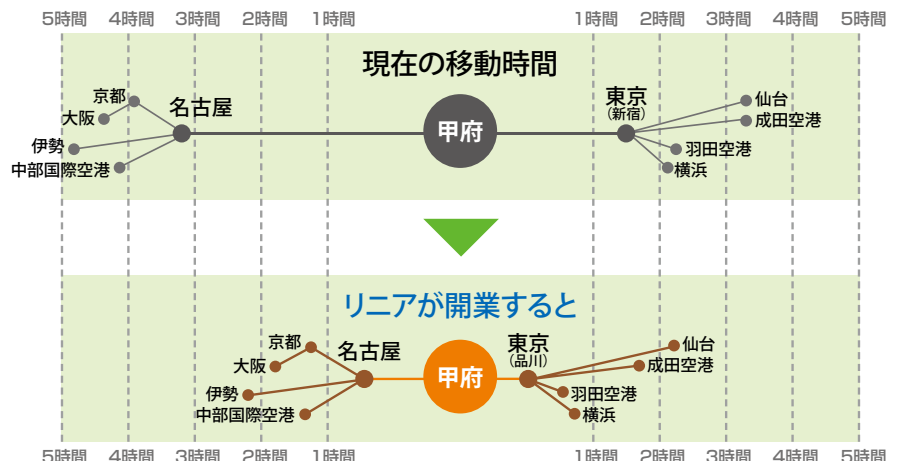
こうした中、山梨百年の計として、この千載一遇のチャンスをつかむため、リニア開業を機に、富を確実にこの山梨に呼び込み、県民生活の豊かさに直結されるための指針となる「やまなしリニアビジョン」を令和2年3月に策定しました。

このビジョンに基づき、豊かな自然環境に囲まれながら、大都市とアクセスしやすくなるという立地環境の強みを最大限に生かし、先端技術の実証実験を行う場として、山梨が世界に先駆けて新たな価値を創造する近未来の窓口となるよう、最先端企業などを山梨に誘致するための活動を強力に展開していきます。

リニアが開業すると

リニア中央新幹線が開業すると、甲府と東京都心が約25分で結ばれるようになり、また、中京圏・関西圏からの無理のない日帰り旅行も可能になります。

さらに、主要な空港からの所要時間も大幅に短縮されることから、人と情報の交流密度が飛躍的に向上することが期待できます。



山梨県総合計画

Yamanashi Comprehensive Plan

性格 あらゆる県計画の上位に位置する、新たな県政運営の基本指針

期間 2019(令和元)年度から2022(令和4)年度までの4年間

基本理念(2040年の山梨が目指すべき姿)

県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ① 価値を生み出す産業 | 産業の高付加価値化により魅力的な仕事が増加 |
| ② 一人ひとりの可能性を広げる教育 | 一人ひとりが多様な個性や能力を発揮 |
| ③ 多様性が強みとなる共生社会 | 誰もが生涯を通じて職場や地域で活躍 |
| ④ 将来に向け持続可能で安心できる生活 | 持続可能な社会の中で健康寿命が延伸 |
| ⑤ 快適な生活空間 | 産業や生活を支え、守る基盤を整備 |

県民が持つ「豊かさ」のイメージ (平成29年 県民意識調査より) (%)

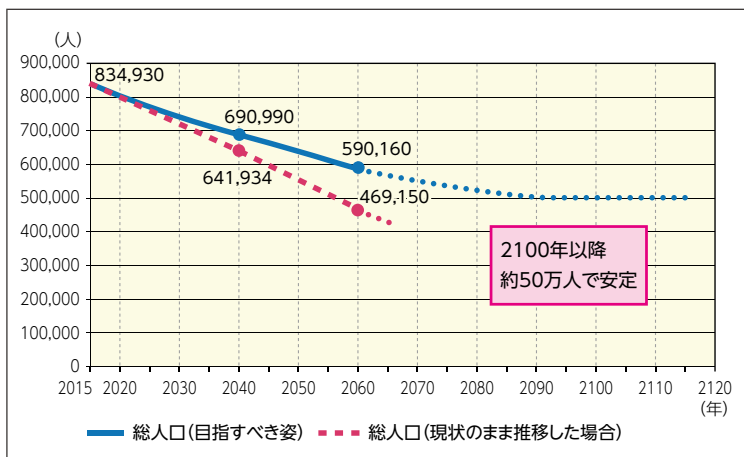
	全体	男性	女性	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
心身の健康	51.6	48.8	54.5	35.0	35.6	39.2	52.6	52.2	62.4	60.7
時間的なゆとり	39.7	38.1	41.5	37.5	34.7	53.2	44.0	47.4	32.2	28.8
快適な居住環境	37.5	38.4	36.6	32.5	29.7	37.4	40.5	39.9	41.1	34.1
収入や資産が多い	36.4	40.0	32.6	47.5	51.0	50.5	41.2	35.2	29.9	16.5
恵まれた人間関係	31.8	30.3	33.5	32.5	29.2	35.1	37.1	29.0	28.1	32.6
恵まれた自然	26.1	26.6	25.6	32.5	25.7	20.3	18.6	21.5	28.7	40.4

県民一人ひとりにとっての豊かさも多様化し、また、それぞれのライフステージによっても変化していくと考えられます。

日本全体として人口減少が見込まれ、戦後の高度成長期のような急激な経済成長は見込みづらい中で、県民一人ひとりが考える個性ある豊かさを実感するためには、県全体として経済、社会、環境、それぞれの豊かさを維持・拡大させながら、県民一人ひとりの生活の質を向上させていくことが必要となります。

人口の将来展望(人口ビジョン)

超長期的に見た総人口の推移



《現状は》

- 就職期の若者(特に女性)の転出超過傾向 (2018年: 20代前半女性は1,149人の転出超過)
- 県内出生数は減少傾向 (2008年: 6,908人⇒2018年: 5,556人)

目指す未来では

このままでは…

- ~~総人口は2040年に64万2千人、2060年に46万9千人に減少…~~
- ~~世代間の人口構成のバランスは悪化…~~

《将来展望》

- 人口の減少のペースは緩やかに (2040年: 69万1千人、2060年: 59万人)
- 生まれる子どもの数が減らない社会に
- 超長期的に、人口減少は止まる (2100年以降: 総人口は約50万人を維持)

将来展望の実現に向けて

本県の人口の問題点に即した方向性で取り組み、人口減少のスパイラル(悪循環)を遮断

《問題点》

- 就職期の若者(特に女性)の転出超過が大
- 子育て世代も転出超過、Uターン者の動き弱い ⇒ 社会減が自然減を加速(負のスパイラル)



《方向性》

- 女性活躍の推進
- 教育・子育て環境の充実
- 経済の底上げによる豊かな山梨の創造

基本理念実現のための5つの戦略

総合計画では、取り組みの方向性である5つの「戦略」の下に、その戦略のねらいを実現するための17の「政策」を掲げ、効果的・効率的にさまざまな施策や事業を推進していきます。

戦略1 攻めの「やまなし」 成長戦略

～産業の振興による県内経済の活性化～

- 【政策1】 やまなしを牽引する産業の育成
- 【政策2】 観光産業の振興
- 【政策3】 農業の成長産業化
- 【政策4】 林業の成長産業化
- 【政策5】 地場産業や経済を循環させる産業の強化

戦略2 次世代「やまなし」 投資戦略

～次代を担う人材の育成・確保～

- 【政策1】 一人ひとりの個性を生かした教育の推進
- 【政策2】 産業を支える人材の育成・確保
- 【政策3】 文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮

戦略3 活躍「やまなし」 促進戦略

～誰もが生涯を通じて活躍できる環境の整備～

- 【政策1】 誰もが個性や能力を発揮できる環境の整備
- 【政策2】 希望を叶える子育て支援等の充実
- 【政策3】 地域へのひとの流れの強化

戦略4 安心「やまなし」 充実戦略

～安心して暮らすための保健・医療・福祉の充実と持続可能な社会への転換～

- 【政策1】 健康・命を守る保健医療の確保
- 【政策2】 地域で安心して自分らしく暮らすことができる福祉の充実
- 【政策3】 環境と調和した持続可能な社会への転換

戦略5 快適「やまなし」 構築戦略

～産業や生活の基盤づくり～

- 【政策1】 産業・生活を支える交通インフラの充実
- 【政策2】 災害に強い強靱な県土づくり
- 【政策3】 良好な生活環境と地域を支えるコミュニティづくり

多様な主体とのパートナーシップ

- 県民の皆さまはもちろん、市町村、関係団体、民間企業、NPO、教育・研究機関などの多様な主体とのパートナーシップを重視
- 「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」を実現するという目標を共有
- 多様な主体との連携・協働により施策・事業を推進



「山梨県総合計画」は県のホームページや、お近くの県の出先機関でご覧いただけます。

山梨県 総合計画

検索



地勢 Geographical Features

■甲府盆地から北を眺めると



この写真は、中部横断自動車道・白根IC付近から撮影したものです

山梨は周囲を急峻な山々に囲まれています。

北東部に秩父山塊、西部に3,000m級の山々からなる赤石山脈（南アルプス）、南部には世界遺産富士山（3,776m）、そして北部には八ヶ岳、茅ヶ岳が広い裾野をひいています。

これらの山地は、山岳、森林、湖沼、溪谷などの優れた景観に富み、富士箱根伊豆国立公園など、自然公園にも指定されています。

おもな川 富士川は、日本三大急流の1つです。

	(流路延長)	(流路延長)
富士川 <small>(釜無川を含む)</small>	122.40km	日川 28.40km
早川	61.00km	鶴川 24.05km
桂川	52.85km	芦川 23.64km
笛吹川	46.50km	道志川 20.00km
荒川	34.00km	多摩川 19.74km <small>(丹波川を含む)</small>
塩川	33.06km	

(注)流路延長は山梨県内分 資料:河川表

おもな湖沼

	(面積)	(周囲)	(深さ)	(標高)
富士五湖	山中湖 6.57km ²	13.87km	13.3m	980.5m
	河口湖 5.48km ²	20.94km	14.6m	830.5m
	本栖湖 4.70km ²	11.82km	121.6m	900.0m
	西湖 2.10km ²	9.85km	71.5m	900.0m
	精進湖 0.51km ²	6.80km	15.2m	900.0m

資料:国土地理院

おもな山 日本の高い山トップ3が山梨にあります。

	(標高)	(標高)
富士山 <small>世界遺産</small>	3,776m	駒ヶ岳 2,967m
		赤岳 2,899m
白根三山	北岳 3,193m	観音ヶ岳 2,841m
	間ノ岳 3,190m	薬師ヶ岳 2,780m
	仙丈ヶ岳 3,033m	地藏ヶ岳 2,764m
	農鳥岳 3,026m	鳳凰三山

資料:国土地理院

自然公園 6つの自然公園の面積は、県土の約3割を占めています。

	(面積)	(関係市町村)	(指定年月日)
富士箱根伊豆国立公園	36,796ha	富士吉田市外6町村	昭和11年2月 1日
秩父多摩甲斐国立公園	46,834ha	甲府市外4市2村	昭和25年7月10日
南アルプス国立公園	18,286ha	斐崎市外2市1町	昭和39年6月 1日
八ヶ岳中信高原国定公園	4,088ha	北杜市	昭和39年6月 1日
県立四尾連湖自然公園	362ha	市川三郷町	昭和34年4月 2日
県立南アルプス巨摩自然公園	14,841ha	斐崎市外2市3町	昭和41年4月 1日

(注)面積は山梨県分 資料:環境省自然環境局

■甲府盆地から西を眺めると



この写真は、八代ふるさと公園(笛吹市)から撮影したものです

■甲府盆地から北東を眺めると



この写真は、中部横断自動車道・白根IC付近から撮影したものです



■甲府盆地から南東を眺めると



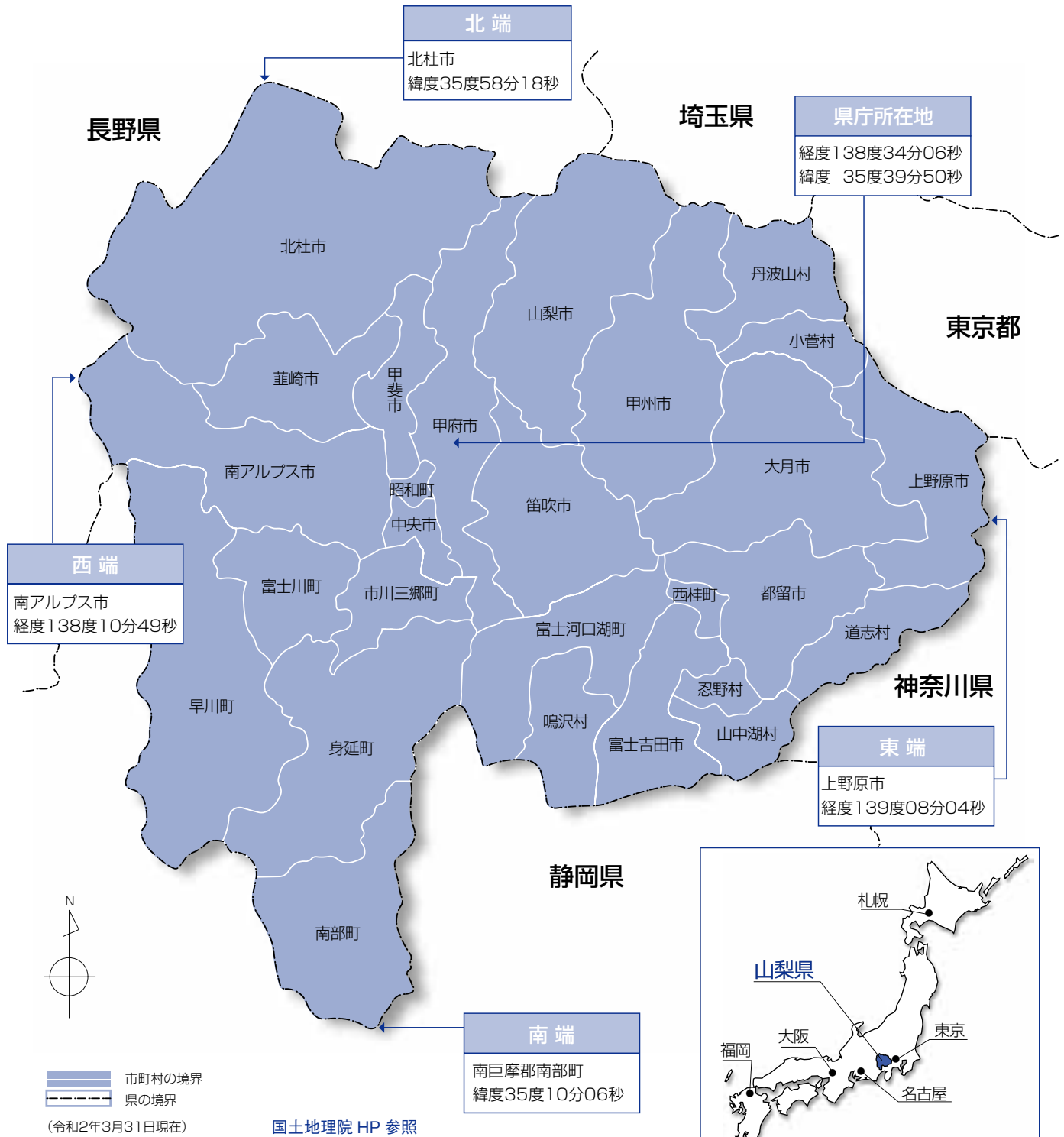
この写真は、中部横断自動車道・白根IC付近から撮影したものです

面積・人口

Area and Population

山梨県は日本列島のほぼ中央に位置し、東京都、神奈川県、静岡県、長野県、埼玉県に囲まれた海のない内陸県です。面積は日本の総面積377,975.24km² (令和元年10月1日現在) の約100分の1に当たり、県土の約78%を森林が占めています。

総面積 *4,465.27km² 全国 第32位 (令和元年10月1日現在)



総人口 812,056 人 (令和元年10月1日現在)

■市町村別人口・世帯数

山梨県の市町村数は、27 (13市8町6村) です。

市町村名	面積 (R1.10.1) km ²	人口 (R1.10.1)			世帯数 (R1.10.1) 世帯
		総数 人	男 人	女 人	
県合計	* 4,465.27	812,056	397,952	414,104	339,481
市部計	* 2,816.42	693,276	338,939	354,337	291,257
郡部計	* 1,648.85	118,780	59,013	59,767	48,224
甲府市	212.47	188,406	92,036	96,370	86,685
富士吉田市	* 121.74	47,211	23,003	24,208	18,638
都留市	161.63	30,751	14,847	15,904	13,728
山梨市	289.80	33,420	16,039	17,381	12,972
大月市	280.25	23,128	11,260	11,868	9,572
韮崎市	143.69	29,576	14,774	14,802	11,947
南アルプス市	264.14	69,810	34,325	35,485	26,243
北杜市	602.48	43,756	21,357	22,399	18,858
甲斐市	71.95	75,291	37,090	38,201	31,299
笛吹市	201.92	68,168	33,033	35,135	27,283
上野原市	170.57	23,052	11,563	11,489	9,630
甲州市	264.11	29,705	14,279	15,426	11,282
中央市	31.69	31,002	15,333	15,669	13,120

■人口・世帯数は、令和元年山梨県常住人口調査 (令和元年10月1日現在) によります。

■面積は、国土地理院「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」によります。

*印は境界未定により便宜上の概算数値である参考値を記載しています。

a) について、本栖湖 (4.70km²) は、水面が境界未定のため、南巨摩郡身延町と南都留郡富士河口湖町の面積及び両郡の合計には含まれません。ただし、県合計、郡部計には含まれます。

四捨五入の関係で、総数と内訳の合計が必ずしも一致しません。

市町村名	面積 (R1.10.1) km ²	人口 (R1.10.1)			世帯数 (R1.10.1) 世帯
		総数 人	男 人	女 人	
西八代郡	75.18	14,770	7,159	7,611	5,874
市川三郷町	75.18	14,770	7,159	7,611	5,874
南巨摩郡	a)984.82	33,655	16,444	17,211	13,921
早川町	369.96	995	517	478	554
身延町	a)301.98	10,956	5,395	5,561	4,763
南部町	200.87	7,341	3,611	3,730	2,907
富士川町	112.00	14,363	6,921	7,442	5,697
中巨摩郡	9.08	20,583	10,387	10,196	8,820
昭和町	9.08	20,583	10,387	10,196	8,820
南都留郡	* a)420.99	48,568	24,400	24,168	18,999
道志村	79.68	1,612	812	800	592
西桂町	15.22	4,116	1,999	2,117	1,500
忍野村	25.05	9,242	5,157	4,085	3,610
山中湖村	53.05	5,152	2,549	2,603	1,933
鳴沢村	* 89.58	2,944	1,441	1,503	1,084
富士河口湖町	a)158.40	25,502	12,442	13,060	10,280
北都留郡	154.08	1,204	623	581	610
小菅村	52.78	686	350	336	330
丹波山村	101.30	518	273	245	280

■市町村合併の状況

合併後の名称	合併年月日	合併関係市町村
甲府市	平成18年 3月 1日	甲府市、中道町、上九一色村 (北部地域)
山梨市	平成17年 3月22日	山梨市、牧丘町、三富村
南アルプス市	平成15年 4月 1日	八田村、白根町、芦安村、若草町、櫛形町、甲西町
北杜市	平成16年11月 1日	明野村、須玉町、高根町、長坂町、大泉村、白州町、武川村
北杜市	平成18年 3月15日	[再合併] 北杜市、小淵沢町
甲斐市	平成16年 9月 1日	竜王町、敷島町、双葉町
笛吹市	平成16年10月12日	石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町
笛吹市	平成18年 8月 1日	[再合併] 笛吹市、芦川村
上野原市	平成17年 2月13日	上野原町、秋山村
甲州市	平成17年11月 1日	塩山市、勝沼町、大和村
中央市	平成18年 2月20日	玉穂町、田富町、豊富村
市川三郷町	平成17年10月 1日	三珠町、市川大門町、六郷町
身延町	平成16年 9月13日	下部町、中富町、身延町
南部町	平成15年 3月 1日	南部町、富沢町
富士川町	平成22年 3月 8日	増穂町、鰻沢町
富士河口湖町	平成15年11月15日	河口湖町、勝山村、足和田村
富士河口湖町	平成18年 3月 1日	[再合併] 富士河口湖町、上九一色村 (南部地域)

歴史 History

原始・古代

山梨県の大地に人々の営みが認められるのは、約3万年前からです。原始社会は、狩りや魚とり、木の実を採取する段階から、やがて米作りの段階へと進み、ムラが統合されてクニが形成されます。

4世紀末から大丸山古墳や銚子塚・丸山塚古墳が造られますが、このことから甲府市中道地区の曽根丘陵に大きな勢力が存在していたことがうかがえます。

8世紀の山梨は、甲斐国といい「山梨・八代・巨麻・都留」の4郡からなり、その中心は、国府・国衙の地名や国分寺があることから今の笛吹市の春日居町、御坂町、一宮町付近にあったといわれています。

12世紀に入ると、公家による古代国家の体制は揺らぎ、その中から台頭してきたのが武家でした。1131年ごろ、甲斐国には源義清、清光の親子が入り、甲斐源氏を興します。

中世・近世

甲斐源氏の諸氏のうち、武田氏や小笠原氏、南部氏などは後世まで繁栄します。16世紀の武田氏は、戦国大名として発展し、甲府につつじヶ崎館や要害城を築き、ここを拠点に四隣経略を進め、天下統一を目指しました。

1582年、武田氏滅亡後の甲斐国は、織田・豊臣・徳川と支配が移り、江戸幕府の下で、甲府藩(国中)・谷村藩(郡内)が成立しますが、1724年には幕府直轄地となります。甲州街道や富士川舟運の発達、物資の流通や文化の流入を促しました。

19世紀に入ると、幕藩体制の矛盾から各地に一揆が多発し、本県でも天保騒動が起きました。このころ、日本は欧米諸国の圧力により鎖国を解き、近代国家への道を歩み始めることとなります。

近代・現代

甲州は、明治元年(1868)3月に官軍が甲府城に入城した後、甲斐府から甲府県を経て、同4年11月20日に山梨県となります。(現在11月20日は「県民の日」)

明治前半は、藤村県令の勸業政策により、製糸業やぶどう酒醸造業が育成されます。後半には、中央線が開通し、産業や文化が進展します。本県の農家は、小作地率が高く、大正から昭和にかけて小作争議が多発しています。富士川舟運は、中央線の開通によって急激に衰退し、身延線の開通する昭和初期にはその歴史を閉じます。

昭和20年(1945)、終戦を迎え、戦後の農地改革によって自作農中心の体制となり、その後の農業経営は果樹への転換が著しくなります。高度経済成長期には本県でも商工業が発達しました。さらに、昭和57年(1982)の中央自動車道の全線開通後、物流が一気に増大し、ますます工業化が進みました。



丸山塚古墳

明治

- 元年(1868) 官軍甲府入城。甲斐府を置く。
- 2年(1869) 甲斐府を廃し甲府県とする。
- 4年(1871) 甲府県を山梨県に改め、土肥実国県令となる。
- 6年(1873) 大阪府参事藤村紫朗、山梨県権令となる(翌年県令となる)。
- 9年(1876) 県病院開院。
- 10年(1877) 初の県議員選挙。第1回県会を太田町一蓮寺で開く。山梨県庁落成。



明治10年落成当時の山梨県庁

- 22年(1889) 市町村制施行。
- 23年(1890) 府県制公布。県に警察部を設置。

- 24年(1891) 県下に郡制を施行。本県に府県制を施行。
- 27年(1894) 甲府市西青沼に甲府測候所開設。
- 30年(1897) 甲府魚市場開業。
- 32年(1899) 県会議員選挙直接選挙制となる。開国橋開通。
- 33年(1900) 県立山梨県中学校を甲府城跡に新築移転。甲府電力会社開業。
- 35年(1902) 山梨県高等女学校を寿町に開校。中央線笹子隧道貫通、中央線大月駅まで開通。(翌年韮崎駅まで開通)
- 37年(1904) 甲府城跡を開放して舞鶴公園とする。
- 38年(1905) 東京～甲府間電話開通。
- 42年(1909) 県内各地で耕地整理着手。
- 44年(1911) 御料林を山梨県へ下賜の御沙汰書。中央線新宿～名古屋間全線開通。

大正

- 元年(1912) 県恩賜県有財産管理規則制定。
- 5年(1916) 県病院新築完成。
- 9年(1920) 恩賜記念の謝恩塔が舞鶴公園に完成。第1回国勢調査、県人口58万3453人。県下初の鉄筋コンクリート橋、笛吹川鵜飼橋竣工。
- 12年(1923) 富士川の鵜沢～身延間に飛行艇(プロペラ船)就航。
- 14年(1925) 県営八ヶ岳牧場開設。

昭和

- 3年(1928) 富士身延鉄道全線開通。
- 5年(1930) 県庁新庁舎(現在の別館)完成。県産繭額明治以来最高の463万貫を記録。
- 6年(1931) 中央線甲府～新宿間電化。
- 7年(1932) 富士山測候所開設。
- 10年(1935) 国鉄小海線全線開通。
- 11年(1936) 富士箱根国立公園指定。
- 16年(1941) 富士身延鉄道が国鉄身延線となる。
- 19年(1944) 酒石酸生産のためブドウの生食禁止。
- 20年(1945) 甲府大空襲、全市の74%が焦土と化す。
- 23年(1948) 県教育委員会発足。第1回県芸術祭開催。
- 24年(1949) 山梨大学開学。
- 25年(1950) 「山梨県の歌」決まる。第1回全国植樹祭開催。
- 29年(1954) 塩山町が奥野田村を合併、町村合併促進法に基づく合併第1号。県立精神病院開院。
- 32年(1957) 県営西山発電所営業発電開始。



新笹子トンネル開通

- 33年(1958) 国道20号に新笹子トンネル開通。
- 34年(1959) 県農試果樹分場でジベレリン処理による種なしブドウの栽培に成功。
- 35年(1960) アメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結。
- 37年(1962) 甲府市で初の下水道使用開始。
- 39年(1964) 富士山有料道路(スバルライン)開通。
- 40年(1965) 富士山頂で世界一の気象レーダー始動。
- 41年(1966) 県立北病院開院。
- 42年(1967) 新御坂トンネル開通。
- 44年(1969) 中央自動車道富士吉田線開通。
- 45年(1970) 第1回信玄公祭り開催。県立中央病院開院。
- 46年(1971) 愛宕山こどもの国完成。河口湖大橋開通。
- 47年(1972) 昇仙峡グリーンライン開通。
- 48年(1973) 甲府精進湖有料道路開通。
- 49年(1974) 県ワインセンター完成。広瀬ダム完成。
- 52年(1977) 県流通センターオープン。
- 53年(1978) 県立美術館開館。
- 54年(1979) 南アルプススーパー林道開通。中道町(現甲府市)で方形周溝墓群を発掘。
- 55年(1980) 国立山梨医科大学開学。
- 56年(1981) 甲府北バイパス全線開通。宝石美術専門学校開校。
- 57年(1982) 金川曾根広域農道竣工。県立考古博物館開館。中央自動車道全線開通。県民文化ホール竣工。
- 58年(1983) 県立あさひワークホーム竣工。
- 59年(1984) 県立総合婦人会館竣工。県歴史文化公園条例制定。
- 60年(1985) 高山植物保護に関する条例を制定。中国四川省と友好県省締結。県地場産業センターオープン。
- 61年(1986) 丘の公園、清里の森オープン。かいじ国体、ふれあいのかいじ大会開催。第1回県民の日。
- 62年(1987) 第1回ふれあいやまなしことぶき祭り開催。
- 63年(1988) 第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催。

平成

- 元年(1989) リニア新実験線建設地が山梨に決定。東富士五湖道路全線開通。県立文学館開館。
- 2年(1990) 第14回全国育樹祭開催。国際交流センター竣工。
- 3年(1991) 県景観条例全面施行。
- 4年(1992) 大韓民国忠清北道と姉妹締結。県工業技術センター竣工。情報教育センター竣工。環境首都憲章制定。障害者幸住条例施行。
- 5年(1993) 長寿やまなし県民憲章策定。富士山有料道路マイカー規制の実施。
- 7年(1995) 防災ヘリコプター「あかふじ」運航開始。アイメッセ山梨竣工。笛吹川フルーツ公園オープン。
- 8年(1996) 地方病の流行終息宣言。富士ふれあいの村開村。
- 9年(1997) 山梨百名山選定。県環境科学研究所開所。
- 10年(1998) 雁坂トンネル開通。県立看護大学開学。県立科学館開館。県立フラワーセンター開園。富士山憲章制定。
- 11年(1999) 県立産業技術短期大学校開校。
- 12年(2000) 小瀬スポーツ公園アイスアリーナ竣工。
- 13年(2001) かいじきらめき国体開催。
- 14年(2002) 中部横断自動車道白根IC～双葉JCT間開通。
- 15年(2003) 「平成の大合併」県内第一号として、新・南部町誕生。
- 16年(2004) 富士の国やまなし館オープン。
- 17年(2005) やまなし・ゆめふじ国体開催。県立中央病院全院開院。山梨県立大学開学。県立博物館開館。
- 18年(2006) あけぼの医療福祉センター竣工。
- 19年(2007) 中部横断自動車道増穂以南で本線工事に着手。
- 20年(2008) 富士・東部小児初期救急医療センターオープン。琴川ダムの供用開始。
- 21年(2009) 県立美術館「ミレー館」オープン。やまなし観光推進機構が発足。山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター開所。
- 22年(2010) 県立中央病院と県立北病院が独立行政法人に移行。
- 23年(2011) JR東海がリニア中央新幹線ルート提示、中間駅候補地の県内合意。富士山の日条例制定。
- 24年(2012) 米倉山太陽光発電所及びPR施設「ゆめソーラー館やまなし」完成。ドクターヘリの運用開始。新県立図書館開館。
- 25年(2013) 富士の国やまなし国文祭開催。「富士山」世界遺産登録。山梨県防災新館開館。
- 26年(2014) 豪雪災害の発生。リニア見学センター新館「どきどきリニア館」開館。リニア中央新幹線着工。インターハイ開催。
- 27年(2015) 山梨近代人物館オープン。次世代フライホイール蓄電システム実証実験施設完成。大村智氏が、ノーベル賞を受賞。
- 28年(2016) 産前産後ケアセンター開設。クニマス展示館開館。富士山世界遺産センター開館。
- 29年(2017) 中部横断自動車道増穂IC～六郷IC間開通。甲府駅南口駅前広場完成。やまなし子ども・子育て支援条例制定。
- 30年(2018) 「葡萄畑が織りなす風景」、「星降る中部高地の縄文世界」日本遺産に認定。東京2020オリンピックの自転車競技ロードレースの県内開催が決定。山梨県防災基本条例制定。山梨県文化芸術基本条例制定。

令和

- 元年(2019) 中部横断自動車道六郷IC～下部温泉早川IC、南部IC～富沢IC間開通。やまなしUターン就職支援センター、ふるさと山梨定住機構、やまなし外国人相談センター、山梨県外国人人材企業相談センター開設。

先人 Forerunner

明治時代から戦前までの間、山梨県の発展に貢献した人物、国内外で活躍した山梨ゆかりの人物



わかおいっぺい
若尾逸平

(1820-1913)

南アルプス市生まれ。甲州財閥の中心人物。天秤棒から身を起こし一代で東京の電力や市電を支配するほどの財を成す。第十国立銀行（山梨中央銀行の前身）の取締役や初代甲府市長、県内初の貴族院議員となり活躍した。

山梨中銀金融資料館蔵



あめみやけいじろう
雨宮敬次郎

(1846-1911)

甲州市生まれ。甲州財閥の一人。明治の文明開化の中で常に時代の先を読み、鉄道や製鉄業などの経営に手腕を振るい、甲武鉄道（現・JR中央線の一部）の取締役となる。また、国の発展のために社会的事業にも取り組んだ。



ねづかいちろう
根津嘉一郎

(1860-1940)

山梨市生まれ。甲州財閥の一人。東武鉄道など全国の鉄道会社経営に関わり「鉄道王」と呼ばれた。文化振興にも大きく貢献し、山梨県内の全小学校にピアノを寄贈。「根津ピアノ」の愛称で、今も親しまれている。

東武博物館提供



こばやしいちさく
小林一三

(1873-1957)

韮崎市生まれ。阪急グループ創設者で、鉄道を拠点とした都市開発モデルを生み出した。阪急電鉄をはじめ、日本初のターミナル・デパートや東宝映画、宝塚歌劇団など数々の事業を立ち上げた。

阪急電鉄株式会社提供



はやかわのりつぐ
早川徳次

(1881-1942)

笛吹市生まれ。ロンドンで地下鉄事業を学び、東洋初となる地下鉄の“生みの親”となる。生涯を懸けて挑んだ地下鉄は発展を続け、首都の大動脈・東京メトロとして、今も多くの人々を運んでいる。

個人蔵



いしばしたんざん
石橋湛山

(1884-1973)

東京都生まれ。幼少期から高校時代を山梨県で過ごした。戦後、衆議院議員となり第一次吉田内閣で大蔵大臣、第一次鳩山内閣では通商産業大臣を務める。1956（昭和31）年には第55代内閣総理大臣に就任した。

石橋湛山記念財団蔵



ふじむらしろう
藤村紫朗

(1845-1909)

熊本県生まれ。14年間、山梨県の県令（県知事）として、県営勸業製糸場建設、葡萄・葡萄酒生産の振興、甲州街道の改修など殖産興業政策を推し進めた。教育にも力を注ぎ、擬洋風建築の校舎は「藤村式」と呼ばれている。

山梨中銀金融資料館蔵



ないとうたちゅう
内藤多仲

(1886-1970)

南アルプス市生まれ。建築構造技術者・学者。東京タワー、大阪通天閣、名古屋テレビ塔など、多くの塔を設計し、「耐震構造の父」「塔博士」と呼ばれた。山梨県庁本館や県民会館の設計も手掛けた。

個人蔵



たかのまさなり
高野正誠 (左) (1852-1923)

つちやりゅうけん
土屋龍憲 (右) (1859-1940)

甲州市生まれ。国産ワインの礎を築いた。日本初のワイン醸造会社「大日本山梨葡萄酒会社」が設立された年、フランスに留学し、本場の葡萄栽培法・葡萄酒醸造法を学び、帰国後、普及に努めた。

甲州市提供



おがわまさこ
小川正子

(1902-1943)

笛吹市生まれ。ハンセン病患者救済に生涯をささげた医師。瀬戸内海に浮かぶ小島のハンセン病療養所「長島愛生園」で7年間を過ごし、体験記『小島の春』を著した。同著は、のちに映画化され大ロングランとなった。

笛吹市教育委員会提供



あさかわ たくみ
浅川 巧

(1891-1931)

北杜市生まれ。日本と朝鮮の架け橋となった林業技師。朝鮮半島に渡り、伐採により荒廃した山野の緑化に取り組みながら、朝鮮の工芸品の研究や保存にも尽力するなど、朝鮮文化をこよなく愛した。

写真提供：北杜市浅川伯教巧兄弟資料館©浅川文彦



いとう
伊藤 うた

(1868-1934)

韭崎市生まれ。私財を投じて甲府に山梨実科高等女学校（大正14年、甲府湯田高等女学校と改称。現・甲斐清和高等学校）を開設。山梨の女子教育の基礎を築き、数多くの人材を輩出した。

伊藤学園甲斐清和高等学校蔵



ポール・ラッシュ

(1897-1979)

アメリカ合衆国・インディアナ州生まれ。来日後、高冷地・清里に農村センターを設立し、戦後日本の農村を復興へと導いた。創設したキープ協会は、清泉寮を拠点に、今もさまざまな活動を続けている。

©(公財)キープ協会/ポール・ラッシュ記念館



いいただこつ
飯田 蛇笏

(1885-1962)

笛吹市生まれ。近代俳句界を代表する俳人。故郷山梨で数々の格調高い句を詠み多くの人々を魅了した。作家・芥川龍之介とも作品を通して深い交流があった。郷土を詠んだ「芋の露連山影を正しうす」は代表句の一つ。

山梨県立文学館蔵



なかむらせいこ
中村 星湖

(1884-1974)

富士河口湖町生まれ。富士山麓の自然を舞台に2人の少年の友情と成長を描いた『少年行』をはじめ、地方色豊かで質朴な作品を世に送り出した。自然主義作家として、郷土の文化を深く見つめ直し、その向上にも尽力した。

山梨県立文学館蔵



むらおかはなこ
村岡 花子

(1893-1968)

甲府市生まれ。モンゴメリの名作を翻訳した『赤毛のアン』など、欧米家庭文学を日本に紹介し、多くの人に夢と希望を与えた。ラジオの子供向けニュース番組に出演したり、童話や随筆、短歌など数多くの作品を世に残すなど、幅広い活動をした。

写真提供：赤毛のアン記念館・村岡花子文庫

山梨近代人物館

— 山梨県庁舎別館2階 —

平成27年4月、県指定有形文化財である県庁舎別館内にオープンした「山梨近代人物館」は、令和2年に開館5周年を迎えます。明治時代から戦前までの間に、山梨県の発展に貢献した人物、国内外で活躍した山梨ゆかりの人物を紹介しています。また、紹介する人物に関連した講座を月1回程度開催します。

■ 開館5周年記念 第11回展示

「郷土をひらいた先駆者たち」

展示期間：令和2年4月1日～9月27日

■ 開館5周年記念 第12回展示

「山梨の文化の発展に尽くした人々
— 県立博物館開館15周年 —」

展示期間：10月1日～令和3年3月28日

館内には、竣工当時の内装を復元した旧知事室や正庁、県政の歴史展示、子ども向け展示などもあります。



山梨県庁舎別館



人物紹介室

■ 開館時間

午前9時～午後5時

■ 休館日

第2・4火曜日 / 12月29日～1月3日
※展示替え作業などに伴い臨時に休館することがあります。

■ 入館料：無料

■ 問い合わせ先：山梨近代人物館

TEL 055-231-0988

FAX 055-231-0991



旧知事室

山梨近代人物館

検索

※ホームページ・フェイスブックで、最新の情報を紹介しています。

産業 *Industry*



■問い合わせ先 農政総務課 TEL 055-223-1583

山梨県の農業は、東京圏に近い有利な立地条件や変化に富んだ自然条件を生かしながら、農業者のたゆまぬ努力と高度な生産技術の確立などにより、果樹、野菜、畜産、水稲、花きなどの特色ある産地を形成しています。

中でも、果樹は農業生産額の約6割を占め、ブドウ、モモ、スモモは、全国一の生産量を誇っています。

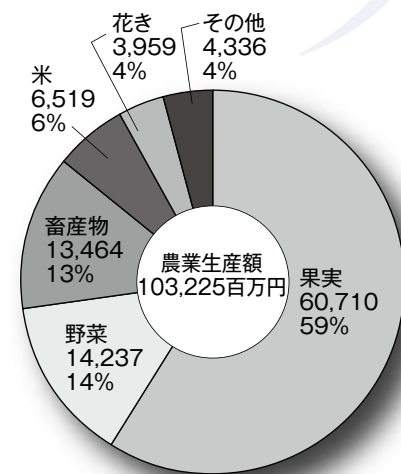
また、甲州牛や甲州富士桜ポークなどのブランド食肉をはじめ、魅力ある農産物が数多く生まれ、本県特産のブドウ「甲州」で造られる白ワインは海外でも高い評価を得ています。

このような中、近年は新規就農者も増加しており、農業の成長産業化を支える担い手として活躍が期待されています。



ブドウ園

■農業生産額(平成30年) (単位:百万円)

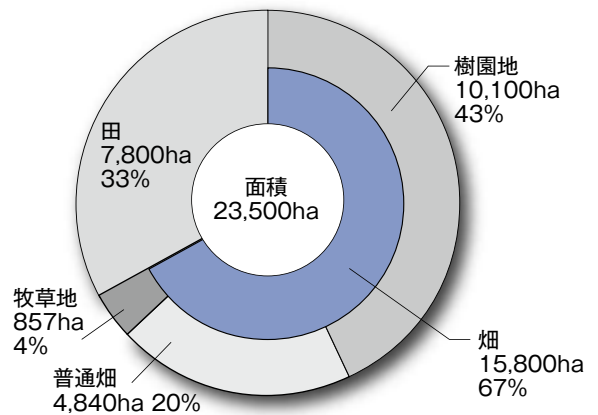


資料:平成30年農業及び水産業生産額実績(山梨県農政部)



ころ柿作り

■耕地面積(令和元年7月15日現在)



資料:耕地及び作付面積統計(農林水産省)
(統計表の基準により四捨五入したため、計と内訳は一致しない。)

日本一の生産量を誇る「やまなしのくだもの」

■ブドウ生産量(令和元年)

日本一	1位	山梨	36,900t
	2位	長野	31,700t
	3位	山形	16,400t
	4位	岡山	15,800t
	5位	福岡	7,640t
		全国	172,700t

■モモ生産量(令和元年)

日本一	1位	山梨	30,700t
	2位	福島	27,000t
	3位	長野	12,000t
	4位	山形	9,350t
	5位	和歌山	7,080t
		全国	107,900t

■スモモ生産量(令和元年)

日本一	1位	山梨	5,420t
	2位	長野	2,720t
	3位	和歌山	2,020t
	4位	山形	1,890t
	5位	藤	907t
		全国	18,100t

参考資料:「農林水産省 作物統計調査」

山梨県は、国際的な森林認証であるFSC森林管理認証を取得した県有林をはじめ、森林が県土の約78%を占める全国有数の森林県です。このうち、森林面積の約44%を占めるスギ、ヒノキ、カラマツ、アカマツなどの人工林の多くが木材として利用可能な時期を迎えています。

このような中、東京2020オリンピック・パラリンピックの競技施設や選手村の一部への県産FSC材の採用、大型合板工場の稼働により県産材の需要は高まっており、さらなる利用拡大に向け、林内路網の整備による効率化・低コスト化や、公共、民間建築物の木造・木質化など、本県の誇る豊かな森林資源の循環利用の推進に取り組んでいます。

また、森林環境税などを活用し、荒廃した民有林の間伐を行うなど、森林の持つ公益的機能が将来にわたって発揮されるための取り組みも進めています。

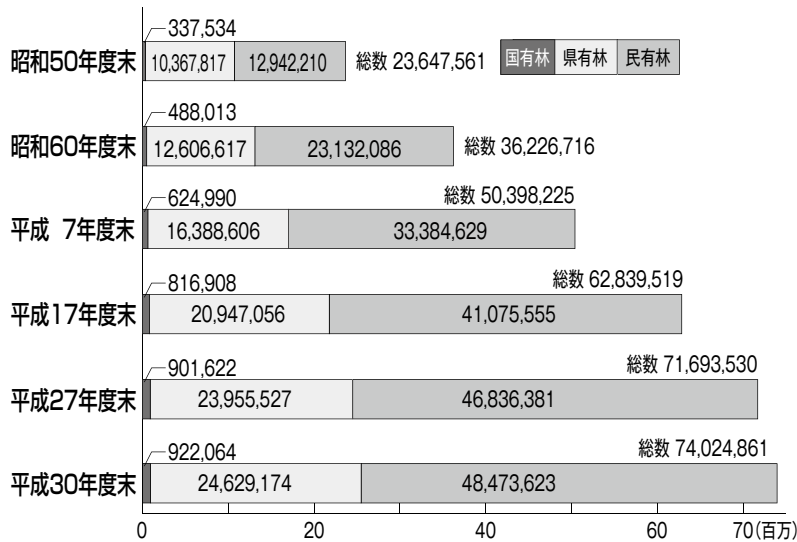


手入れが行き届いた人工林



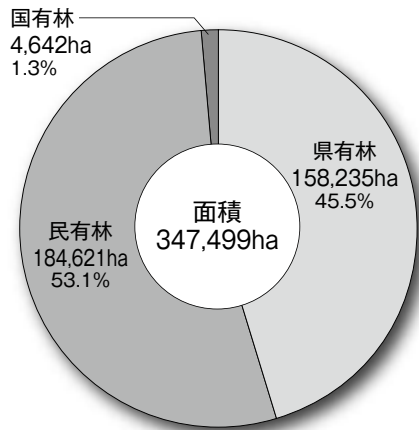
林内路網を活用した木材生産

■森林蓄積の推移 (単位: m³)



資料: 「山梨県林業統計書」の各年度の数値による。
※蓄積とは森林内立木の体積の総量をいう。

■所有形態別森林面積



資料: R1 山梨県林業統計書
(統計表の基準により四捨五入したため、計と内訳は一致しない)

■森林面積と森林比率

全国		山梨	
37,297千ha	総面積	446,527ha	
25,048千ha	森林面積	347,499ha	
67.2%	森林比率	77.8%	

資料: 全国 国土地理院「北方領土面積を除いた全国都道府県市区町村別面積調」(R1.7現在)「2019森林・林業統計要覧」
山梨「R1山梨県林業統計書」

■人工林面積と人工林比率

全国		山梨	
25,048千ha	森林面積	347,499ha	
10,204千ha	人工林面積	153,391ha	
40.7%	人工林比率	44.1%	

資料: 全国「2019森林・林業統計要覧」
山梨「R1山梨県林業統計書」

■問い合わせ先 商業について 産業政策課 TEL 055-223-1535
統計について 統計調査課 TEL 055-223-1341

山梨県の商業は、県民の豊かな生活を支えるとともに、本県経済の一翼を担う産業として発展してきました。しかし、昨今の商店街を取り巻く環境は、大型商業施設の進出、インターネット販売などによる購買機会の多様化や、少子高齢化等の社会構造の変化などにより、ますます厳しさを増しています。

このため、時代の変化に対応した魅力ある商店街づくりなどを目指し、活力ある個店の創出や商店街の活性化等の取り組みが行われています。

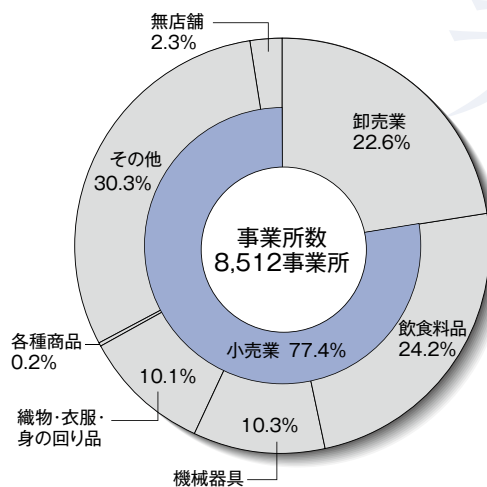


にらさきまちゼミ（韮崎市）

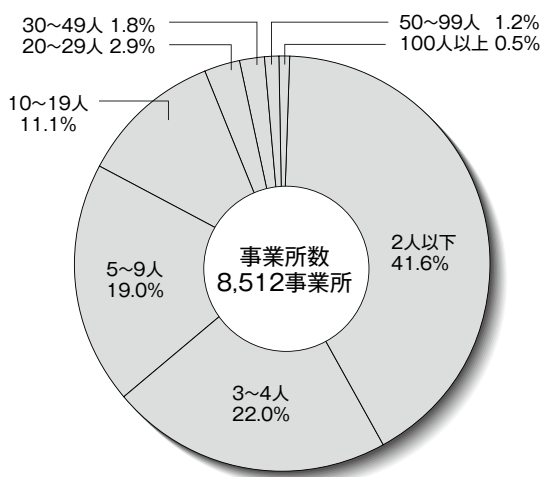


商店街人材育成セミナー（現場体験研修）

■業種別事業所数の構成比(平成28年)

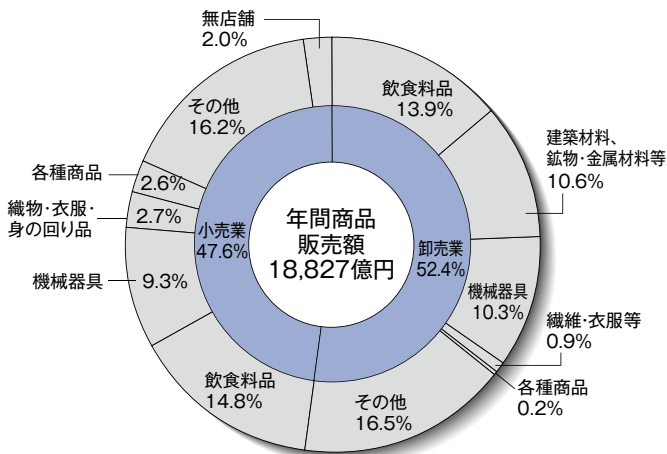


■従業者規模別事業所数の構成比(平成28年)



資料：経済センサス-活動調査

■業種別年間商品販売額の構成比(平成27年)





■問い合わせ先 工業について 成長産業推進課 TEL 055-223-1565 地場産業について 産業振興課 TEL 055-223-8871
統計について 統計調査課 TEL 055-223-1341

山梨県には、全国的にも有名なジュエリー、ワイン、織物、印章、和紙をはじめ、本県の風土に根差したさまざまな地場産業があります。

さらに、エレクトロニクス（電子技術）やメカトロニクス（機械電子）などの立地も進み、活発な生産活動が展開されています。

こうした中で、山梨県経済の大きなけん引力となるよう医療機器関連産業や、水素・燃料電池関連産業など成長が見込まれる産業の集積を進めていきます。



山梨大学医療機器産業技術人材養成講座



山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター

■出荷額全国1位の主な産業(平成29年)

品目	出荷額 (百万円)	全国シェア (%)	順位 (位)
数値制御ロボット	272,293	75.8	1
ミネラルウォーター	75,694	45.6	1
半導体・IC測定器	58,622	25.0	1

資料：工業統計調査

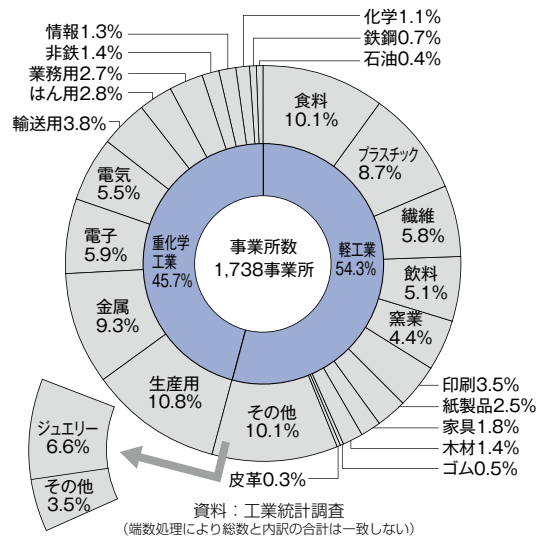
■日本ワイン生産量全国1位(平成30年度)

品目	生産量 (キロリットル)	全国シェア (%)	順位 (位)
日本ワイン ※	5,189	31.2	1

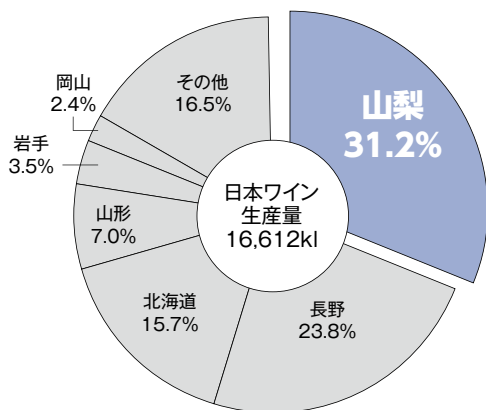
※日本国内で栽培されたブドウを100%使用して国内で醸造されたワイン

資料：果実酒製造業者実態調査

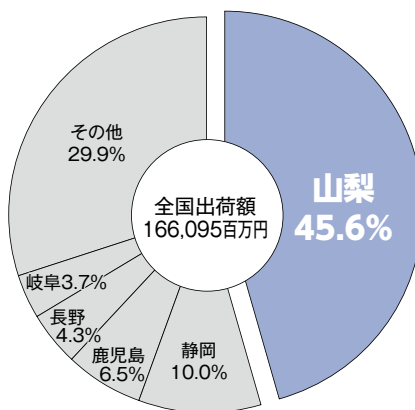
■産業別事業所数の構成比(平成30年)



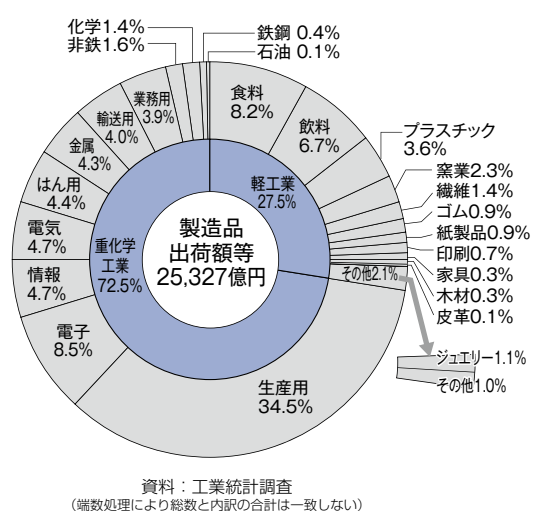
■日本ワイン生産量の全国シェア(平成30年度)



■ミネラルウォーター出荷額の全国シェア(平成29年)



■産業別製造品出荷額の構成比(平成29年)



International Exchange

国際交流・国際理解、多文化共生

山梨県では1960(昭和35)年に、全国に先駆けてアメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結を行いました。その後、ブラジル連邦共和国ミナス・ジェライス州、中華人民共和国四川省、大韓民国忠清北道、フランス共和国ソーヌ・エ・ロアール県と姉妹・友好締結を行っています。

今後も「国際化を推進する地域づくり」に取り組む中で、活発な国際交流活動を展開します。

姉妹州

アメリカ合衆国 アイオワ州

1960(昭和35)年3月14日締結

本県が昭和34年の台風により甚大な被害を受けたとき、同州から見舞いとして農畜産物が贈られたことが姉妹締結の直接の契機となりました。都道府県での姉妹関係としては、わが国での草分けとなりました。

■人口 315万人(2019年)

■面積 14万5千km²

■州都 デモイン市 人口21万人(2018年)

■農業 トウモロコシ、大豆、豚、鶏卵、牛

■工業 機械、食品、化学、バイオテクノロジー



姉妹州

ブラジル連邦共和国 ミナス・ジェライス州

1973(昭和48)年7月25日締結

研磨・宝飾産業が盛んである本県に対し、同州は貴金属の原石供給地であることから姉妹締結を行いました。本県とは地球の反対側に位置し、中南米における国際交流活動推進の拠点となっています。

■人口 2,104万人(2018年)

■面積 58万7千km²

■州都 ペロオリゾンテ市
人口250万人(2018年)

■農業 牧畜、コーヒー、大豆、サトウキビ、
トウモロコシ

■工業 鉱業、製鉄、セメント、自動車



友好省

中華人民共和国 四川省

1985(昭和60)年6月18日締結

共に内陸部にあり、富士山、峨眉山等の名山を有するなど類似点が多く、民間レベルで活発に交流活動が行われていたことが契機となり、友好省の締結を行いました。省都である成都市は、中国西南部地域の商業貿易・金融・化学技術の中心地でもあり、西部大開発の中心拠点都市として発展しています。

■人口 8,341万人(2018年)

■面積 48万5千km²

■省都 成都市 人口1,633万人(2018年)

■農業 水稻、菜種、生糸、馬鈴しょ、養豚、茶、野菜

■工業 飲料、農産物加工、医薬品、IT、自動車



姉妹道

大韓民国 忠清北道

1992(平成4)年3月27日締結

ライオンズクラブやロータリークラブなど民間交流がきっかけとなり、甲府商工会議所と清州商工会議所の姉妹締結を経て、両県道の姉妹締結に至りました。本県と同じく盆地で形成され、清州国際空港や高速鉄道、工業団地などのインフラ整備により、活気ある経済活動が展開されています。

■人口 160万人(2020年)

■面積 7千4百km²

■道都 清州市 人口84万人(2018年)

■農業 ブドウ、高麗人参、畜産物加工品、唐辛子、
リンゴ

■工業 半導体、電機電子、バイオテクノロジー、化学



姉妹県

フランス共和国 ソーヌ・エ・ロアール県

2000(平成12)年4月7日締結

フランスを代表するワインの産地であるブルゴーニュ地方南部に位置し、ソーヌ川とロアール川がゆったりと流れ、なだらかに連なる丘と豊かな田園風景が印象的です。

■人口 55万人(2017年)

■面積 8千6百km²

■県都 マコン市 人口3万4千人(2017年)

■農業 ワイン、シャロレー牛、羊、プレス地鶏、
チーズ

■工業 金属、機械、食品加工



県内市町村の国際交流

甲府市	アメリカ	アイオワ州	デモイン市
		カリフォルニア州	ロダイ市
	韓国	忠清北道	清州市
富士吉田市	アメリカ	コロラド州	コロラド・スプリングス市
		フランス	オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州
	中国	四川省	成都市
都留市	アメリカ	ニューメキシコ州	ヘンダーソンビル市
山梨市	アメリカ	アイオワ州	スーシティ市
	中国	浙江省	杭州市蕭山区
大月市	オーストラリア	クィーンズランド州	フレザークコースト市
韮崎市	アメリカ	カリフォルニア州	フェアフィールド市
	中国	黒龍江省	佳木斯市
南アルプス市	アメリカ	アイオワ州	ウインターセット市
		オーストラリア	ニューサウスウェールズ州
	中国	四川省	都江堰市
北杜市	アメリカ	ケンタッキー州	ベリア市
		韓国	京畿道
	中国	四川省	都江堰市
甲斐市	アメリカ	アイオワ州	キオカック市
	中国	四川省	都江堰市
笛吹市	中国	山東省	肥城市
	ドイツ	バーデン・ヴュルテンベルク州	バード・メルゲントハイム市
	フランス	ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ州	コート・ドール県ニュー・サン・ジョルジュ市
甲州市	アメリカ	アイオワ州	エイムズ市
	中国	新疆ウイグル自治区	吐魯番市
	フランス	ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ州	コート・ドール県ポーヌ市
中央市	中国	四川省	都江堰市
市川三郷町	アメリカ	アイオワ州	マスカティーン市
昭和町	中国	四川省	都江堰市
西桂町	中国	広西壮族自治区	桂林市靈川県
忍野村	フランス	ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ州	ソーヌ・エ・ロワール県シャルネ・レ・マコン市
山中湖村	フランス	オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州	オート・サヴォア県トノン・レ・パン市エビアン
鳴沢村	フランス	ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ州	ジュラ県セリエール村

相談窓口

山梨県には1万6千人を超える外国人が生活しており、その数は年々増加しています。人口減少が進む中、産業や地域社会の担い手として、外国人の活躍が重要になっています。

山梨県では、外国人が安心して働き、暮らせる環境づくりを行い、外国人に「選ばれる」県となるよう、さまざまな取り組みを推進しています。



■ やまなし外国人相談センター

県内に住む外国人の皆さんのさまざまな疑問や悩みに対して、情報提供や相談を行う窓口です。英語、中国語、韓国語など多言語で対応しますので、周りの外国人の方にお知らせください。

場 所：甲府市飯田2-2-3

国際交流センター内

利用時間：午前9時～午後4時

火曜日～土曜日（祝日・年末年始を除く）

TEL：055-222-3390

■ 山梨県外国人材企業相談センター

県内企業からの外国人材の雇用に関するさまざまな相談に応じる窓口です。電話や来所による相談のほか、出張相談も行います。

場 所：甲府市飯田1-1-20

山梨県JA会館5階

利用時間：午前9時～午後5時

（受付は午後4時30分まで）

月曜日～金曜日

（祝日・年末年始を除く）

TEL：055-225-5605

■ ふるさと山梨定住機構

移住、定住の情報を提供する窓口です。国籍を問わず、さまざまな困りごとについて相談できます。（日本語対応となります）

場 所：甲府市飯田1-1-20

山梨県JA会館5階

利用時間：午前9時30分～午後6時

（月曜日～金曜日）

午後1時～6時（土曜日）

（祝日・年末年始を除く）

TEL：055-244-7980

